

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日
東

上場会社名 アビックス株式会社 上場取引所
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣田 武仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 桐原 威憲 (TEL) 045-670-7720
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,534	35.7	134	—	11	—	8	—	△10	—
2023年3月期第3四半期	1,868	79.6	△11	—	△127	—	△131	—	△147	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △148百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△0.31	—
2023年3月期第3四半期	△4.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,599	1,465	56.2
2023年3月期	3,056	1,465	47.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,460百万円 2023年3月期 1,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,500	5.3	196	13.9	40	157.1	35	223.3	10	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期3Q	35,129,566株	2023年3月期	35,129,566株
2024年3月期3Q	一株	2023年3月期	一株
2024年3月期3Q	35,129,566株	2023年3月期3Q	35,129,566株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断くださるようお願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済活動の制約がほぼ解消され、雇用・所得環境の改善も含め、内需を中心に緩やかな回復の動きが見られました。その一方、世界的な金融引締めによる金利や為替の変動等の影響や原油高等を背景にエネルギー価格や物価の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、「デジタルサイネージ業界No. 1」を目指すべく、引き続き積極的な拡大策を展開してまいりました。特にデジタルマーケティングに注力しWebからの情報収集を強化することにより、新しいマーケットや新規顧客も開拓することができており、スポーツ関連受注を含め案件数は増加いたしました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高2,534,653千円（前年同期比35.7%増）、営業利益11,854千円（前年同期は127,885千円の営業損失）、経常利益8,632千円（同131,090千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失10,776千円（同147,296千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

また、当連結会計年度におけるセグメントごとの業績は以下のとおりです。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門では主にデジタルサイネージのリース、運営部門ではデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門ではデジタルサイネージの製造・販売を行っております。

機器リース部門、運営部門につきましては、リースや月額利用料の契約といったサブスクリプションサービスであることから、契約の増加が安定的な収益につながっております。特に、CMS（コンテンツマネジメントシステム）「DiSi cloud」は堅調に推移しており、契約数、売上ともに第2四半期連結累計期間に続き、増加いたしました。また、「AIサイネージソリューション」につきましても、契約数が着実に増加しており、今後も「DiSi cloud」を軸とし、AIサイネージソリューション等を連携したデジタルプラットフォーム「MiRAi PORT」を積極的に展開してまいります。情報機器部門につきましては、為替の変動等により、仕入価格の高騰などの影響はありますが、上述のとおり、小売店、飲食店、学習塾など多くの業界で受注できております。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は売上高2,451,098千円（前年同期比36.0%増）、セグメント利益15,099千円（前年同期は123,708千円のセグメント損失）となりました。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業につきましては、自ら運営するハイパーローカルメディア「タウンビジョン」や地元密着の記者、各種SNSサービスの活用やターゲットユーザーに響くコンテンツ（記事、動画）制作により、地域での企業のPR、ファン作り、集客からブランディング、また地方自治体の魅力あるコンテンツ開発など地域に係るエリアファンマーケティング（地域密着型マーケティング）を行っております。当事業はサブスクリプションモデルの事業が中心となっていることもあり、前期に引き続き安定的に売上を計上することができていることに加え、ノウハウを活用したコンサルティングなど新たなサービスの提供もスタートしております。将来的に当社グループの基幹事業とすべく、引き続き拡大展開を進めてまいります。

以上の結果、Value creating事業は、売上高83,554千円（前年同期比27.0%増）、セグメント損失3,245千円（前年同期は4,177千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、2,599,248千円（前連結会計年度末比457,687千円の減少）となりました。その主な要因は、売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、1,134,103千円（前連結会計年度末比457,576千円の減少）となりました。その主な要因は、買掛金及び前受金が減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と同水準の1,465,145千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	421,244	668,163
受取手形	13,193	3,788
電子記録債権	89,947	296,433
売掛金	1,236,845	342,345
商品及び製品	202,731	202,727
仕掛品	8,091	17,165
原材料	3,727	11,188
前渡金	187,538	252,141
その他	14,169	19,327
貸倒引当金	△955	△21
流動資産合計	2,176,532	1,813,260
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	20,868	23,879
車両運搬具（純額）	714	535
工具、器具及び備品（純額）	86,539	88,165
レンタル資産（純額）	6,832	12,142
リース資産（純額）	22,265	12,187
有形固定資産合計	137,220	136,910
無形固定資産		
のれん	598,336	517,963
その他	44,852	38,894
無形固定資産合計	643,188	556,858
投資その他の資産		
投資有価証券	45,482	50,387
その他	54,513	41,832
投資その他の資産合計	99,995	92,220
固定資産合計	880,404	785,988
資産合計	3,056,936	2,599,248

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	321,609	153,516
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	250,817	220,631
未払法人税等	14,478	10,330
リース債務	14,599	9,155
賞与引当金	25,609	14,367
前受金	125,891	12,482
その他	74,185	116,733
流動負債合計	1,027,190	537,217
固定負債		
長期借入金	389,755	417,320
リース債務	10,567	4,453
繰延税金負債	13,302	24,678
預り保証金	150,000	150,000
その他	865	434
固定負債合計	564,489	596,886
負債合計	1,591,680	1,134,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,564	1,207,564
資本剰余金	617,740	615,454
利益剰余金	△355,842	△366,619
株主資本合計	1,469,461	1,456,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	711	3,422
繰延ヘッジ損益	△7,056	437
その他の包括利益累計額合計	△6,344	3,859
非支配株主持分	2,139	4,886
純資産合計	1,465,256	1,465,145
負債純資産合計	3,056,936	2,599,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,868,235	2,534,653
売上原価	1,291,026	1,806,841
売上総利益	577,208	727,811
販売費及び一般管理費	705,094	715,957
営業利益又は営業損失(△)	△127,885	11,854
営業外収益		
受取利息	904	902
受取配当金	111	135
持分法による投資利益	—	1,189
為替差益	1,794	—
その他	323	559
営業外収益合計	3,133	2,787
営業外費用		
支払利息	6,131	5,753
為替差損	—	11
その他	206	245
営業外費用合計	6,338	6,009
経常利益又は経常損失(△)	△131,090	8,632
特別損失		
固定資産除却損	—	184
特別損失合計	—	184
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△131,090	8,448
法人税、住民税及び事業税	7,640	6,457
法人税等調整額	9,744	9,744
法人税等合計	17,385	16,201
四半期純損失(△)	△148,475	△7,753
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,178	3,023
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△147,296	△10,776

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△148,475	△7,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	2,710
繰延ヘッジ損益	—	7,494
その他の包括利益合計	△80	10,204
四半期包括利益	△148,555	2,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△147,376	△572
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,178	3,023

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	1,802,462	65,772	—	1,868,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,653	—	△3,653	—
計	1,806,115	65,772	△3,653	1,868,235
セグメント損失(△)	△123,708	△4,177	—	△127,885

(注) 1 セグメント売上高の調整額 △3,653千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント損失(△)の調整後の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 セグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	2,451,098	83,554	—	2,534,653
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,247	828	△3,076	—
計	2,453,346	84,383	△3,076	2,534,653
セグメント利益又は損失 (△)	15,099	△3,245	—	11,854

(注) 1 セグメント売上高の調整額 △3,076千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益の調整後の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント利益には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。